



開幕を飾ったねぶた踊りとネプタ囃子



初参加の大戸瀬支部婦人会



踊りやカラオケなどを披露する出演者たち



第20回 ふかうら芸術祭

11月15日、深浦町文化協会主催のふかうら芸術祭がフィットネスプラザ「ゆとり」で開催されました。会場には約230人の観客が集まり、出演者へ拍手や声援を送りました。

今年のはふかうら芸術祭は、深浦ねぶた踊り普及会と深浦ネプタ囃子保存会による演奏と踊りで幕を開け、初参加となる大戸瀬支部婦人会による踊りも披露されました。ステージ上では、深浦町文化協会の会員や町民の方々による踊りやカラオケ、大正琴、オカリナなど、24演目が披露され、会場は大いに盛り上がりました。



深浦町生涯学習フォーラム ヴァイオリンとチェロの調べ〜音楽に触れる日〜



息の合った演奏を披露した姉の岩谷明石さん(左)と妹の詩織さん(右)

11月8日、深浦町生涯学習フォーラムが深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」で開催されました。今年のフォーラムでは、北金ヶ沢地区出身の父を持つ、ヴァイオリン奏者の岩谷明石さんとチェロ奏者の詩織さんの姉妹がコンサートを開き、ヴァイオリンとチェロによる二重奏を披露。町内外から集まった約90人の聴衆を魅了しました。

コンサートは2部構成で行われ、1部ではクラシック音楽の名曲、2部ではジブリアニメのテーマ曲などを演奏しました。演奏した曲に関する背景やエピソードを岩谷姉妹が分かりやすく解説しながら、演奏とあわせて来場者を楽しませました。

休憩時間には、ヴァイオリンとチェロの演奏体験も行われ、来場者は楽器に触れて音を出してみることで、より音楽を身近に感じていました。ヴァイオリンの演奏を体験した葛西芽杏ちゃん(みよし保育園)は「カエルの歌を弾くのが面白かった」と笑顔で感想を語りました。コンサートの最後には質疑応答の時間



ヴァイオリンを体験する葛西芽杏ちゃん(右) 左は岩谷明石さん

も設けられ、ヴァイオリンとチェロの魅力や曲のアレンジの仕方など、来場者からの質問に答えました。コンサートを終えて、姉の明石さんは、「今回の公演がこれほど大きな舞台になったことに驚いたが、とてもありがたい。温かい気持ちでコンサートをさせていただくことができました」と述べ、妹の詩織さんは「今回のコンサートをきっかけに、久しぶりにいとこや親戚とも再会でき、客席の温かい雰囲気の中で演奏を楽しんでもらえたことをとても嬉しく感じています」とそれぞれ感想を語りました。